

平成 29 年度 文京区障害者基幹相談支援センター 事業計画

平成 29 年 4 月 1 日

文京区長 殿

運営法人名 復生あせび会・文京槐の会共同事業体
代表者氏名 安達 勇二
所在地 東京都文京区小日向 2-16-15
電話番号 03-5940-2903

平成 29 年度文京区障害者基幹相談支援センター事業計画を以下のとおり提出します。

1 基本的な運営方針

障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業として、文京区障害者基幹相談支援センターは、平成 27 年 4 月より区の委託を受け、社会福祉法人復生あせび会と社会福祉法人文京槐の会が、共同で運営します。

現在地域では、障害者及びその家族の高齢化に伴う家族全体に関する相談、また、障害の重複等による複合的な相談など、高度かつ複雑な内容の相談が増えています。そのような地域での課題に対応するための、相談支援活動の中核的な役割を担う相談支援センターを目指します。疾病・障害の種別に関わらず支援を必要とする方に対し、きめ細やかな相談支援や障害福祉サービスの利用支援等を、専門職（社会福祉士、精神保健福祉士等）を配置し行っていきます。

また、地域における相談支援事業者等に対する専門的な指導・助言、または研修などを通じ、人材育成を目指すとともに、関係機関との連携による支援体制の充実を図ります。

平成 29 年度は、主に以下の事業を推進します。

【総合相談支援等】

障害及び難病等に関する相談に対し、アウトリーチも含めた総合的な相談支援を行うとともに、家族全体の重層的課題を含んだ高度かつ複雑な内容の相談に対応しつつ、相談支援事業者等への助言を行います。また、「基幹相談支援センター」の周知活動を継続し、対応方法の平準化を図りながら「相談して良かった」という実感を持っていただけるよう取り組みます。さらに、相談支援の拡充を図る目的で、障害当事者同士で気軽に相談話を話し合える場としてピアグループ活動を実施します。

【相談支援体制の強化】

指定相談支援事業者を始めとする関係機関と連携・協働しながら地域課題の解決に向けた相談支援体制を構築しつつ、障害福祉に関する福祉ニーズに応えるため、研修等を

通じた人材育成を目指します。

- 指定特定相談支援事業所連絡会を月 1 回開催し、区とも連携の上、計画相談のあり方について、協議、検討を進めていくとともに、事例検討等を通じ各事業所の計画相談の質の向上を目指します。
- 高齢・障害関係各団体との連携を密にするために、各種研修会・勉強会に積極的に参加していきます。
- 関係団体と連携し、当事者活動や支援活動を推進するための人材育成を目指し、研修等を企画します。
 - ・文京区精神障害者支援機関実務者連絡会を年 3 回程度、予防対策課と共に実施します。
 - ・文京区障害者地域自立支援協議会相談支援専門部会定例会議を開催し、事例検討や地域のネットワーク構築の場を提供します。

【地域移行・地域定着】

入所施設や精神科病院等への働きかけや、地域の体制整備に係るコーディネートを行い、安心できる地域生活へとつなげていきます。

- 区関連部署と連携し、課題の共有をしつつ、事業対象者を把握するため、医療機関への状況調査や対象者への周知活動を引き続き行います。
- 文京区における地域移行支援の一次窓口としてアセスメントを行い、区関連部署や事業所と連携し、適切な支援につなげていきます。
- 地域生活への移行に向けて、区関連部署や地域事業者、近隣区や都と協働して地域移行・地域定着支援を行います。
- 移行後の安定した地域生活に向け、関連部署と課題を共有し、必要な支援をコーディネートしていきます。

【権利擁護・虐待防止】

障害者等から権利擁護に関する相談に応じ、必要に応じて成年後見制度の利用支援や、虐待防止に関する支援を実施するとともに、その他啓発に関する活動を実施します。

- 虐待防止センターの窓口として、関係課と連携し夜間・休日の通報を受け付けます。
- 平成 28 年 4 月施行の障害者差別解消法に基づき、新たに設置する障害者差別解消相談窓口として、障害を理由とする差別等に関する相談等を受け付けます。

【その他】

- 障害のある方の自立や社会参加を推進することを目的に各種講座等を行っていきます。
- 「文京区避難行動要支援者避難支援プラン（全体計画）」に基づき、平常時及び災害時における役割を担います。
- 地域の相談体制確立と地域課題の解決を目指す自立支援協議会の相談支援専門部会と障害当事者部会の事務局運営等を行います。

3 平成 29 年 4 月 1 日の職員体制

(1) 障害者基幹相談支援センター長

氏 名	兼務する業務
安達 勇二	文京地域生活支援センターあかり

(2) 障害者基幹相談支援センター職員

	氏 名	資 格	専任 兼任	常勤 非常勤	経験 年数	兼務する業務
1	海老名 大	社会福祉士	専任	常勤	16 年	
2	美濃口 和之	社会福祉士 精神保健福祉士	兼任	常勤	14 年	文京ホームアンダント 管理者
3	菊池 景子	精神保健福祉士	専任	常勤	15 年	
4	鈴木 聖人	社会福祉士 精神保健福祉士	専任	常勤	13 年	
5	小久保 葉純	精神保健福祉士	専任	常勤	3 年	
6	中島 亮	精神保健福祉士	専任	常勤	1 年	
7	林 里江	社会福祉士	専任	非常勤		
8	宮森 りつ子	手話通訳者養成 クラス終了者	専任	非常勤		